

全国大学書道学会

会報

14

平成27年(2015)
5月31日発行
全国大学書道学会

学会の原点

会長 平形 精一

昨年度より野中浩俊会長の後任を仰せつかりました。組織によって会長の職務は異なるのですが、本会の先例に倣えば大会当日の挨拶だけで終わるものと安心していました。ここに新たな任務発生です。

さて、私が学会に加入したのは静大に赴任した昭和四十八年で、当時の会長は井上桂園先生、翌年より浅見喜舟先生に代わりました。教育学会が誕生する十年くらい前ですから、教育界の大御所が会を代表していたわけです。

ところで、加藤達成先生監修による『書写・書道教育史資料』（昭和五十九年）は浦野俊則先生と共に携った思い出深い著作ですが、第二巻には先のお二人に石橋犀水先生が加わり、戦前から戦後にかけての習字教育についての座談会が掲載されています。それを拝読しますと、現在の学会の隆盛は、昭和四十三年の小学校の毛筆書写や中学校免許状の書道必修化による大学教員の急増が主たる要因であることが察せられます。教育関係が独立しても本会の目的は当初より不変であり、単なる学術団体ではないことがわかります。

このたび、愛媛大学の東賢司先生が学会の歴史資料が散逸するのを案じ、当時の事情をも明らかにすべくプロジェクトを立ち上げました。意欲的な取り組みに感謝し成果を期待しつつ、まずは任を解かせていただきます。

新たなスタート

理事長 横田 恭三

新緑の季節が過ぎ去り、入梅の時期となりましたが、会員各位にはますますご健筆のことと存じます。

さて昨秋、埼玉大学で開催された総会において、学会としての方針をいくつか申し上げました。その一つ、年二回の会報発行をここを実現できました。主たる目的は、前年度の大会報告と本年度大会の第一次案内になります。

次に、念願の学会ホームページが開設の運びとなりました。業者の選定からプログラミングに至るまで、鈴木晴彦常任理事が中心となってまとめられました。会員の皆様に大いに活用していただきたいと思えます。

本年度の三学会大会は、十月九日～十一日、横浜国立大学にて開催されます。本学会の総会ならびに研究発表は、第二日目です。昨年の埼玉大会では、十三本の研究発表を得るという盛会ぶりでした。本年度も首都圏での開催になりますので、さらに多くの研究発表がなされることを期待しております。なお毎回、大会当日に講演会や鑑賞会などを実施してきましたが、本年度は、新規プロジェクトとして東賢司地区担当理事に司会進行役をお願いし、「本学会における初期の活動」座談会を計画しています。学会設立当初の活動やエピソードなど、大半の方々にとっては初めて耳にすることはかなりだと思います。

最後になりましたが、平成十三年三月に発刊した『書の古典と理論』について一言お話ししておきます。発刊直後から大学関係のみならず、さまざまな分野から注文が無い込んでいるとのことで、早くも第四刷に至りました。なお、テキストに関する作業が一段落しましたので、前述したように、新たなプロジェクトを開始したところです。

今後、こうした活動をスムーズに推し進めるためには、会員各位の温かいご支援とご協力が欠かせません。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

全国大学書道学会 平成26年度(埼玉)大会 次第・総会報告

開催日 平成26年10月11日(土)
 会場 埼玉大学教育学部
 開催大学 埼玉大学

● 9:00 受付 (参加費 会員4,000円 準会員〈大学院生〉2,000円)

● 9:20 平成26年度総会/開会式 (C1教室) 司会 事務局

1. 開会のことば	鈴木 晴彦 (日本大学)
2. 開催大学あいさつ	埼玉大学 大橋 修一 先生
3. 会長あいさつ	平形 精一 (常葉大学)
4. 理事長あいさつ	横田 恭三 (跡見学園女子大学)
5. 議事	議長 杉浦 妙子 (二松學舎大學)
1) 平成25年度事業報告 →資料1	石井 健 (東京学芸大学)
2) 平成25年度決算報告 →資料2	柿木原くみ (相模女子大学)
3) 平成25年度監査報告	計良 裕佳 (相模女子大学)
4) 平成26年度事業計画(案) →資料3	石井 健 (東京学芸大学)
5) 平成26年度予算(案) →資料4	柿木原くみ (相模女子大学)
6) その他	
6. 報告事項	
1) 学会誌について	小川 博章 (淑徳大学)
2) 「書写・書道教育推進協議会」について	事務局
3) 新入会員紹介 →資料5	事務局
4) 次年度開催大学について	事務局
5) その他	
7. 閉会のことば	小川 博章 (淑徳大学)

● 10:30 ~ 12:45 研究発表 午前の部

第1会場 (C1教室) 司会: 東 賢司 (愛媛大学)

10:30 ~ 11:00

秦簡の方折の書風に着眼して

徳島県立徳島科学技術高等学校講師 大住諭紀仁

11:05 ~ 11:35

唐太宗「温泉銘」考 ~ 裱装上の特性を中心としての一考察~

埼玉県立越谷北高等学校教諭 松尾 治

11:40 ~ 12:10

王鐸の行草書における異体を加味した文字について

新潟大学大学院修士課程2年 廣木 知佳

12:15 ~ 12:45

夏目漱石と王羲之

帝京大学大学院博士前期課程2年 河島 由弥

第2会場 (A210教室) 司会: 永由 徳夫 (群馬大学)

10:30 ~ 11:00

仮名古筆における書写様式としての重ね書き表現の形成

帝京大学大学院博士前期課程2年 高橋 由樹

11:05 ~ 11:35

松花堂昭乗筆「長恨歌」の書風に関する一考察

帝京大学大学院博士前期課程2年 大平 竜也

11:40 ~ 12:10

日本の中世古文書等における執筆体勢に関する考察

東京大学史料編纂所技術専門職員 和田 幸大

12:15 ~ 12:45

藤田美術館蔵「伝西行筆 続三十六番歌合(宮河歌合)」について
 一書写形態にみられる歌合的価値と古筆的価値一

広島大学非常勤講師 塩出智代美

● 12:45 ~ 13:30 昼食休憩 (45分)

● 13:30 ~ 16:10 研究発表 午後の部

第1会場 (C1教室) 司会: 前半/小川 博章 (淑徳大学)、後半/森上 洋光 (四国大学)

13:30 ~ 14:00

戦後の前衛書表現にみられる書道の表現の系譜

常磐大学非常勤講師 田畑 理恵

14:00 ~ 14:30

書体・書風の多様化に関する一試論 一不自然な書写様態の発生を契機とした展開について一

安田女子大学助教 尾川 明徳

14:30 ~ 15:00

藤原佐理筆「詩懐紙」の付属文書について

帝京大学准教授 福井 淳哉

● 15:00 ~ 15:10 休憩 (10分)

15:10 ~ 15:40

阿波の豪商書家 三木雲城の生涯と書

四国大学教授 太田 剛

15:40 ~ 16:10

鄴城周辺に見られる東魏・北齊墓誌の出土と隸書再発見の実際

愛媛大学教授 東 賢司

● 16:10 ~ 16:20 休憩 (10分)

《大会記念講演》

● 16:20 ~ 17:30 大会記念講演

演 題 昭和の書道雑誌出版事情（*拓本の展示及び解説を含めて。）
講 師 廣瀬 保雄 先生（神田須田町「清雅堂」主人）

● 17:30 閉 会 閉会の言葉 副会長 竹之内裕章（佐賀大学名誉教授）

《三学会合同懇親会》

● 18:30 三学会合同懇親会

日 時 10月11日（土） 18:30 ~ 20:30
場 所 埼玉大学第1 食堂（けやきホール）
会 費 5,000 円（大学院生は3,000 円）

《会員書作展》

● 会 期 10月10日（金）～10月12日（日）
● 会 場 埼玉大学教育学部コモ1号館1階ギャラリー

《理事会》

● 日 時 10月10日（金） 18:30 ~ 20:30
● 会 場 浦和ワシントンホテル 12階 椿山荘

《総会資料》

資料1

平成25年度事業報告 → 承認

(平成25年)	6月20日	平成25年度（群馬）大会要項（第1次）、会員書作展出品要項、会費払込用紙ほか、発送
	7月19日	平成25年度（群馬）大会研究発表応募締切日
	7月28日	常任理事会／平成25年度（群馬）大会、発表者及び発表順、総会議事案ほか、について
	8月9日	平成25年度会員書作展作品送付締切日
	9月15日	平成25年度（群馬）大会第2次案内ほか、発送
	9月25日	学会誌論文投稿申込締切日
	10月4～6日	平成25年度会員書作展（群馬大学教育学部）
	10月4日	理事会（群馬大会、役割分担確認、総会議事検討）
	10月5日	平成25年度（群馬）大会（総会、研究発表、大会記念講演）／三学会合同懇親会
	11月15日	学会誌投稿論文受付締切日
	11月下旬～	学会誌投稿論文査読
(平成26年)	2月1日	常任理事会（査読結果確認及び学会誌の発行について）
	2月～3月	学会誌編集
	3月15日	常任理事会／三学会合同役員会（群馬大会反省、平成26年度埼玉大会について）

資料2

平成25年度決算報告 → 承認

A：収入の部				
1）平成24年度繰越金		2,336,424 円		
2）平成25年度会費（213名）		1,527,000 円		
3）雑収入				
預金利子		208 円		
群馬大会会員書作展協賛費残金		25,960 円		
群馬大会参加費残金		40,460 円		
合 計		3,930,052 円		
B：支出の部				
1）群馬大会運営補助費（講師謝礼を含む）		160,000 円		
2）理事会費（会議費：141,780 円、交通費：72,210 円）		213,990 円		
3）テキスト編集委員会費		161,400 円		
4）通信費		102,250 円		
5）印刷費（学会誌：262,500 円、会報；120,750 円）		383,250 円		
6）事務費（消耗品費、会費払込手数料 20,730 円を含む）		59,744 円		
7）予備費（お悔み1件、学会費）		37,000 円		
合 計		1,117,634 円		
(A) 収入	—	(B) 支出	=	次年度繰越金
3,930,052 円	—	1,117,634 円	=	2,812,418 円

上記の通り報告いたします。
以上相違ありません。

平成26年10月11日
平成26年10月11日

事務局会計担当
監 査
同

柿木原くみ
大橋 修一
計良 裕佳

資料3 平成26年度事業計画(案) → 承認

(平成26年)	5月30日	学会誌、会報、会費払込用紙、発送
	7月3日	平成26年度(埼玉)大会、第1次案内、会員書作展出品要項、発送
	7月18日	平成26年度(埼玉)大会研究発表応募締切日
	7月27日	常任理事会〈平成26年度(埼玉)大会、発表者及び発表順、総会議事案、等について〉
	8月8日	平成26年度会員書作展作品送付締切日
	9月5日	新規刊行物出版準備委員会(跡見学園女子大学)
	9月13日	平成26年度(埼玉)大会、第2次案内、発表要旨集、等 発送
	10月1日	学会誌論文投稿申込締切日
	10月10～12日	平成26年度会員書作展(群馬大学教育学部)
	10月10日	理事会(埼玉大会、役割分担確認、総会議事検討)
	10月11日	平成26年度(埼玉)大会(総会、研究発表、大会記念講演) / 三学会合同懇親会
	11月15日	学会誌投稿論文受付締切日
	11月下旬～	学会誌投稿論文査読
	12月下旬	常任理事会(査読結果確認及び学会誌の発行について)
(平成27年)	1月～3月	学会誌編集
	3月中旬	常任理事会 / 三学会合同役員会(埼玉大会反省、平成27年度大会について)

資料4 平成26年度予算(案) → 承認

A：収入の部	
1) 平成25年度繰越金	2,812,418 円
2) 平成26年度会費	1,200,000 円
3) 『書の古典と理論』印税	300,000 円
4) 雑収入	
預金利子	200 円
合 計	4,312,618 円
B：支出の部	
1) 埼玉大会運営補助費(講師謝礼を含む)	180,000 円
2) 理事会費(会議費：200,000 円、交通費：200,000 円)	400,000 円
3) 編集委員会費(新企画)	300,000 円
4) 通信費	200,000 円
5) 印刷費(学会誌、会報年2回)	800,000 円
6) 事務費(消耗品費、会費払込手数料他)	100,000 円
7) 予備費	2,532,618 円
合 計	4,512,618 円

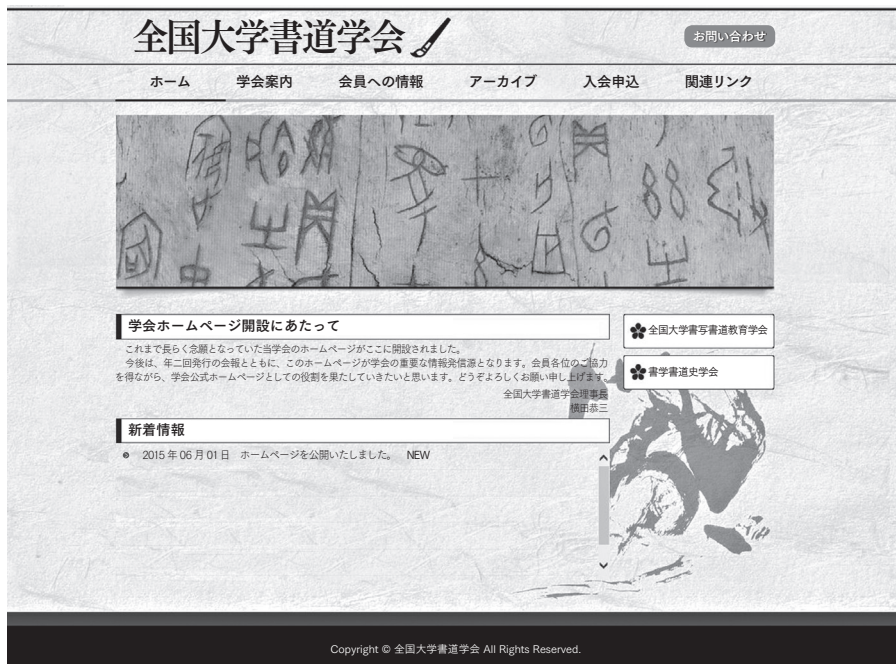
資料5 会員異動

《 会 員 》	鄭 卓(了徳寺大学助手)
	大住諭紀仁(徳島県立徳島科学技術高等学校講師)
	田村南海子(國學院大學非常勤講師)
	権田 瞬一(大東文化大学書道研究所客員研究員)
	高橋 佑太(大妻女子大学非常勤講師)
	折川 司(大東文化大学非常勤講師)
	浅野 多鶴(愛知教育大学非常勤講師)
	中村 薫(大東文化大学人文科学研究所兼任研究員)
《 準会員 》	石坂彩里沙(群馬大学大学院修士課程)
	田中 優花(群馬大学大学院修士課程)
	渡邊 亮太(大東文化大学大学院博士課程)
《 退会・退会申出者 》	法水 光雄 池田 史子 富久 和代

HP開設について

常任理事 鈴木晴彦

このたび待望のHPを開設いたしました。今後順次改善してゆきます。詳細については本年度の大会でお伝えいたします。会員の皆様より要望を事務局にお寄せください。なお、入会申込書はHPからダウンロードできます。



全国大学書道学会サイト URL

<http://all-shodo.jp/>

事務局（会計担当）からのお願い

- 一． 全国大学書道学会会員・準会員一覧は次号に掲載いたします。同封の会員原票に記入の上、六月末日までに送付してください。
- ・ 会員各位の所属につきましては、ご本人の申出がない限り、事務局での修正はいたしませんのでご了承ください。したがって、変更の申出がない場合は入会時の所属のままの記載となりますので、ご注意ください。
- ・ 所属につきましては、会報には職階は掲載いたしません。また、非常勤講師を兼任されておられる場合は一校のみの掲載いたします。
- 二． 年会費納入につきまして、会員書作展協賛費と混同される方や、年会費未納のまま会員書作展協賛費のみ納入される方がおられます。本年度は実験的に、年会費納入の振込用紙に会員書作展協賛費分を合わせて納入していただくようにいたします。会員書作展出品者は年会費と合わせて、八月十五日までに振込みを完了してください。
- 三． 新入会員の推薦・勧誘をお願いします。入会申込書に必要事項を記入の上、事務局（会計担当）・相模女子大学・柿木原くみ宛に郵送またはFAXをお願いします。入会申込書はHPよりダウンロードしてください。
- 四． 住所を変更された場合は、速やかに左記へ変更届を提出してください。

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京二丁目一番一号

相模女子大学 柿木原くみ宛

全国大学書道学会 平成27年度(横浜)大会 第1次案内

下記の要領で、全国大学書道学会平成27年度(横浜)大会を開催します。ふるってご参加、研究発表のご応募、会員書作展へのご出品をいただきたくご案内申し上げます。

- 1) 主 催 全国大学書道学会
- 2) 開催大学 横浜国立大学
- 3) 開催日 平成27年10月10日(土)
- 4) 大会会場 横浜国立大学教育人間科学部
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
- 5) 参加費 4,000円 * 準会員(大学院生)は2,000円
- 6) 日 程 (予定 * 発表件数により変動する場合があります。)
9:00 受付
9:30~10:30 開会式・総会
10:30~12:00 研究発表(1)
12:10~ 昼食
13:30~15:05 研究発表(2)
15:20~17:00 公開座談会「初期の学会活動」(仮)
17:00 閉会

7) 研究発表の募集

大会における研究発表を希望する会員(含、準会員)は、下記の要領を確認の上、発表要旨を期日までに事務局(庶務担当)宛に郵送またはe-mail添付ファイルにてお送りください。内容は未発表のものに限ります。応募者には後日、発表の可否を連絡いたします。なお、共同研究の場合、発表者以外の方が会員でない場合でも発表は可能です。

<注意> 研究発表は、発表資料を利用して行っていただきます。発表後、学会誌へ投稿される場合には、完成原稿(3部)を11月15日(日)までに事務局(庶務担当)宛に送付願います。

(1) 発表要旨

- ・ 要旨には、研究の意義・ねらい、方法、結論等を簡潔に記すこと。
- ・ 体裁は、word文書A4標準設定、縦置き縦書き、上下2段組。1段は、縦33字、横23行、10.5ポイントで設定。
- ・ 要旨は上段に記載し、最初の4行に、タイトル、所属機関名及び役職・発表者氏名(共同研究の場合は全員)を記し、本文は500字以上627字(19行)以内としてください。
- ・ 下段には、発表者氏名、郵便番号、住所、電話(FAX)番号、e-mailアドレスを付記してください。会場施設の都合により、発表の際に使用するノートパソコンは各自ご用意ください。

(2) 申込締切 **7月17日(金) 必着**

- (3) 送付先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学書道研究室内
電話/FAX 042-329-7611 e-mail tishii@u-gakugei.ac.jp
全国大学書道学会事務局 石井 健 宛

* e-mailで送付される場合は、念のため、送付した旨を郵便またはFAXでご一報ください。

8) 学会誌への投稿

大会における研究発表を経ずに、学会誌『大学書道研究』に研究論文を投稿される際は、学会誌掲載の執筆要項を確認の上、上記(1)にならった論文要旨を10月1日(木)までに事務局(庶務担当)宛に送付いただき、完成原稿(3部)は11月15日(日)までに事務局(庶務担当)宛に送付願います。

9) 会員書作展

会員作品展を以下のように開催いたします。ふるってご出品ください。出品する会員・準会員は、下記の要領によってお申し込みください。詳細は、同封別紙の出品要項をご覧ください。

- (1) 会 期 10月9日(金)～10月11日(日)
 (2) 会 場 横浜国立大学教育人間科学部内
 (3) 協 賛 費 7,000円(作品表装等の費用として)
 (4) 作品規格 同封別紙「全国大学書道学会会員書作展出品要項」でご確認ください。
 (5) 内 容 自由
 (6) 送付締切 8月20日(木)必着 *協賛費を払込の上、作品、出品票を同封のこと
 (7) 送 付 先 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 電話 045-339-3540
 横浜国立大学教育人間科学部 青山 浩之 宛
 *なお、本年度は実験的に、年会費納入の振込用紙に会員書作展協賛費(作品出品者のみ)を合わせて納入していただくようにしました。
 *出品作品は開催大学にご寄贈いただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

10) 大会記念講演「初期の学会活動」(仮)

11) 懇親会

- 日 時 10月10日(土) 18:00～20:00 *予定
 場 所 第2次案内でお知らせいたします。
 会 費 第2次案内でお知らせいたします。

12) 理事会 常任理事、理事(地区担当、会務担当)はご出席ください。

- 日 時 10月9日(金) 18:30～20:30 *予定
 会 場 別途ご案内いたします。

13) 宿泊・昼食のご案内 *会場への交通については同封別紙をご参照ください。

【お問合せ】 研究発表、大会に関するお問合せは、

学会事務局庶務担当(石井 健/東京学芸大学/e-mail tishii@u-gakugei.ac.jp FAX 042-329-7611)

大会に関するお問合せは、下記開催大学担当者まで e-mail でお願いいたします。

横浜国立大学教育人間科学部 青山 浩之(あおやま ひろゆき)

e-mail aoyama@ynu.ac.jp 電話 045-339-3540

本学会と併せて、下記の学会等が開催されます。(ただし、参加費は別扱いです。)

- * 10月9日(金) 12:00～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門会役員会
 13:30～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門会
 17:30～ 全国大学書写書道教育学会理事会
 18:30～ 全国大学書道学会理事会
 * 10月10日(土) 9:00～ 全国大学書道学会
 18:00～ 三学会合同懇親会(記念撮影を含む)
 * 10月11日(日) 9:00～ 全国大学書写書道教育学会

全国大学書道学会プロジェクト 「初期の学会活動」に関わる公開座談会開催について

理事 東 賢 司

昨年度の埼玉大会の総会で紹介されましたが、現在、学会のプロジェクトとして「全国大学書道学会の初期の活動」について資料収集・資料整理を行っています。これは、「本学会は長い歴史を持つはずであるが、いつ頃発足してどのような活動をしていたのかはつきりしない」という問題意識があったからです。これについては、常任理事の石井健先生も同じ意識を持っておられ、時々話題にしていました。学会発足時から昭和四十五年までについては、断片的な情報しかないという状況であることも確認できました。

このことは、学会立ち上げに関わったほとんどの先生方がお亡くなりになり、確認しようもないという現状であることや、日本教育大学協会の書道部門会（通称二部会）との明確な区分が付けにくいこともあって、遡って調べるのが難しいという状況もありました。ただ、これを放置しておく、とんだん知っている方もおられなくなってしまう可能性があまりあります。断片的でもかまわないので、すぐに取りかかり、資料を収集し保存しておく必要があると考えました。

また、新潟大学教授で本学会の常任理事でもあった故鶴田一雄先生も調査をされていたようです。鶴田先生のご遺志も受け継ぎ、若手の研究

者にも学会の歴史を知っていただきたいと思っています。

埼玉大会の前に、本学会理事長の横田恭三先生に相談をしたところ、すぐに学会プロジェクトとして実施しようと判断していただき、常任理事会等で了承を取っていただけました。

最も大きな問題は、どこに関連資料があるかということです。幸いなことに、長く学会の事務局を担当されていた浦野俊則先生（当時の勤務先は二松學舎大學、現植草学園大学学長）の所に、資料を保存してあることがわかり、段ボール箱に何箱も資料を提供していただきました。また、平形精一先生や鈴木晴彦先生にも資料提供をいただきました。

ご存じの先生も多いと思いますが、かつての学会誌は、日本書道教育学会の『書学』に掲載されていたものを表紙を変えて作っていました。浦野先生はその『書学』の取材編集もされていたことから、古い時期の資料も見つかっており、学会設立日は昭和三十四年六月十二日ということがわかりました。第一回総会・大会は、京都市の京都学芸大学（現在の京都教育大学）で実施されています。本学会は、今年で五十七年目を迎えます。

上記のような資料整理と公開も進めておりますが、今年度は、二度の座談会を行う予定です。一度は、「昭和四十年～昭和五十年代までの学会活動について」、二度目は「昭和の学会活動」についてです。これらはいずれも仮題ですが、二度目の座談会は公開とし、十月十日の横浜大会で実施いたします。古い資料の中から興味深いものを紹介するとともに、ベテランの先生にご登壇いただき、昔話に花を咲かせていただこうと思います。いつもの学会講演会とは雰囲気異なるものになると思います。が、お気軽にご参加くださいますようお願いいたします。